

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日
平成 23 年 4 月 15 日

Table with columns for '事務事業名', '区分', '事務事業No.', '課内No.', '政策体系', '財務会計上の位置付け', '予算科目', '法令根拠'. Includes details for '北学校給食センター給食指導事業' and '一般会計'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
・学校給食を通じて、児童生徒及び保護者に対して「食」の大切さを啓発し、「食」が健全な子供の成長に大きく寄与していることを指導する。
【担当が行う業務の手順】
・学校栄養職員が学校へ出向き、食に関する授業に講師として参加したり、給食時の指導などを行っている。また、「栄養メモ」を各学校の全クラスに毎日発行し、放送資料としても活用されている。それ以外にも、食育や給食に対する理解を深めてもらうため、保護者に対し、毎月「給食だより」を発行している。
【事業費の内訳】
・人件費のみ

Table with columns for (1) 事務事業の目的, (2) 指標値の推移, (3) 投入量(事業費)の推移. Includes sub-tables for activity indicators, target indicators, and result indicators.

Table for (2) 指標値の推移. Columns: 区分, 単位, 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(実績), 23年度(計画), 24年度(計画), 25年度(計画), 28年度(目標). Rows include activity indicators (e.g., school visits), target indicators (e.g., number of children), and result indicators (e.g., food habits).

Table for (3) 投入量(事業費)の推移. Columns: 区分, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 28年度. Rows include '事業費' (国庫支出金, 県支出金, etc.) and '人件費' (正規職員従事人数, 延べ業務時間, etc.).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
・孤食や偏食、朝食欠食など、乱れた食生活をおくっている子供が増加傾向にある。乱れた食習慣は大人になってから改善することは難しく、子供のうちに直す必要がある。そのため、平成14年から児童生徒に対し、食に関する指導を行っている。
・平成17年7月15日に「食育基本法」が施行され、食習慣改善に対する期待が強まった。
・学校における食に関する指導の回数が増え、児童生徒に対する指導が充実した。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・親子給食や給食センターしらべ隊では、「もっとこのような機会を増やしてほしい」との意見があった。(アンケートより)

事務事業名	北学校給食センター給食指導事業	事務事業No.	31132007	所属課	北学校給食センター
-------	-----------------	---------	----------	-----	-----------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) ・「食」の大切さを認識し、児童生徒の健康増進に大いに寄与する。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) ・学校教育活動の中で行うことによって、全児童生徒へ指導を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) ・児童生徒及び保護者を対象としている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) ・学校等と意見交換を行うことにより、更に充実した指導を行うことが期待できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) ・食に関する情報を提供することができなくなり、児童生徒の食生活が乱れ、肥満や生活習慣病の増加などの問題が増える。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) ・事業費が存在しないため、削減はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) ・食育の重要性を考えると、業務時間の削減は難しい。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) ・受益者負担の配分は適正である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項